

木のあるくらし作文コンクール

環境大臣賞受賞

となりのスーパーハウス

12月15日、小牛尾^{こうしお}蒼生^{そうせい}さん（城川内小1年）が、大野教育長のもとを訪れ、「第28回木のあるくらし作文コンクール」〔低学年の部〕で環境大臣賞を受賞したことを報告しました。

作文のタイトルは「スーパーハウス」で、自宅横に植えてあるジミカンの木をスーパーハウスと捉えて、木に集まる昆虫や木の役割と良いところ、持ち

味、などについて自然との調和を交えながらつづられています。

10月25日に、すまい・るホール（東京都）で行われた表彰式で大勢の参加者が見守る中、自身の作文を朗読した蒼生さんは「発表はドキドキしたが上手に読めた。大好きなジミカンの木のことを書いた作文で受賞できてうれしい」と笑顔で話しました。



3

たぐさんのほ、はがすなをかく
していたから、あひさんもきつ
かたが、たんだとおもいます。
じみかんの木は、かさをひろげ
たように、はえていて、ひびけが
もちいいです。あしもとをみると
じみかにあながあいてるのに、
きづきました。
「ぎ」とこの「の」あなは、ない？
とゆびをさしたところに、せみの
ぬけがらがありました。せみがい
いというように、せみがなまはじ
めたので、よくとおがあさんはび
っくりしました。どこでないてい

4

るのかみあげてみると、かなぶん
か、えだをあてていました。く
ものすもありません。じみかに
きものが、じみかんの木にいるな
んで、しりませんでした。
もうひとつ、ぼくはきづきまし
た。ピーだまよりすこしおおき
い。じみかんの木が、たぐさん、た
ぐさん、ていす。まだみどりい
ろです。が、あいい。ぼくは、そ
うおもいました。
じつは、このじみかんには、た
いせつなしごとがあるのです。そ
れは、おしよらがつの、かがみも

5

ちのうえの、ることで、ぼくの
いえだけではなく、しんけきの
えにもいます。す、とまえから
つづいて、ることで、ぼくもこの
まえのおおきかたに、ちぎるお
つたいをしました。おおきかた
てに、ぎれいなみかんになる
て、ぼくは、いす。
「はく」の「え」のとなりにある、じ
みかんの木は、ちいさいな、きもの
なまもつて、さだてて、おしよ
かつのてつだいもしてくれるスー
パーハウスです。これから、す
とたいせつにしたいです。

1

スーパーハウス
「ねん こうしお あおい
「なにみてるの？」
おあさんがまよのそとをじ、と
みていました。
「じみかんの木に、とりがきてる
の？」
「ぼくもまよをみあげてみたけれど
はきいえだ、たぐさんのほ、は
しかみえせん。
「あ、とんでいっ、ち、た、
「ぼくもみだか、たな」
「はく」の「え」のとなりには、じみ
かんの木がうえてあります。ぼく

2

のおあさんが、うまれるまえに
うえたと、じいちゃんからきま
ました。
あるひ、にやでいもむしをみつ
けました。おあさんが
「あ、は、ち、うのようちやうだ、
みかんのほ、ばをたべるよ。」
と、おしえてくれました。さ、そ
くむしが、に、いれるは、ばを、ち
ぎいに、ききました。すると、は
はに、やぶれたさなぎがついてい
るのをみつけました。
「ち、うち、にな、てとんでい、
たんだね。」